

あたらしいを、あたりまえに

J:COM

【令和7年度フェムテック等サポートサービス実証事業 事業報告】

女性の健康ケアをあたりまえに 女性の健康プラットフォーム&アプリ



Care Of Things, Things Of Normal

株式会社ジェイコム九州

2026年2月

令和6年度、当社では本実証の取り組みにおいて、女性の健康に関するプラットフォームの構築と管理職向けのセミナー開催により、女性がいきいきと安心して働くことのできる職場環境整備に関する実証事業を行った。実証の結果、管理監督者のリテラシー向上による職場環境の整備、女性自身のリテラシー向上による婦人科受診率の向上の成果が見られた。

また、プラットフォームを活用した女性においてはキャリアへのイメージや健康課題への取り組みにポジティブな回答が増加し、プレゼンטיーイズムの改善につながることを示されたことから、本事業を進めることでより多くの企業の生産性向上につながると考えている。

以下に記載の事業を実施することで、職場において女性が抱える健康課題について相談ができる環境を整え、一人ひとりの体質・心身の状態に合わせた健康ケアをサポートし、女性がいきいきと働くことのできる環境をつくる。

- ◆ 企業における女性の健康に関するリテラシー向上の仕組みを構築し
それぞれの企業において女性の健康に対する取り組みをサポートする。
- ◆ 女性の健康プラットフォーム『Cotton』の内容拡充により、ライフステージごとの健康課題の理解を深める。
- ◆ 女性の健康アプリ『Cotton』の制作により、自身の健康状態が見える化し
必要な正しい情報を知る→受診する→セルフケアのサイクルをサポートする。

女性特有の健康課題に関するリテラシーを向上させることで

働く女性のこころとからだの健康維持

能力を発揮できる職場環境整備

女性の昇進希望率・管理職登用率増加

を図り、労働損失・経済損失の抑制につなげる

企業・自治体の健康経営推進担当者向けセミナー実施
(3回実施 9社 23名参加)

支援

健康経営推進担当者が研修ノウハウを各組織に持ち帰る

それぞれの健康経営推進担当者と組織内研修を企画実施
(6社実施 328名参加)

各企業および自治体内の従業員の健康リテラシー向上

成果

職場環境の改善
プレゼンティーズムの改善



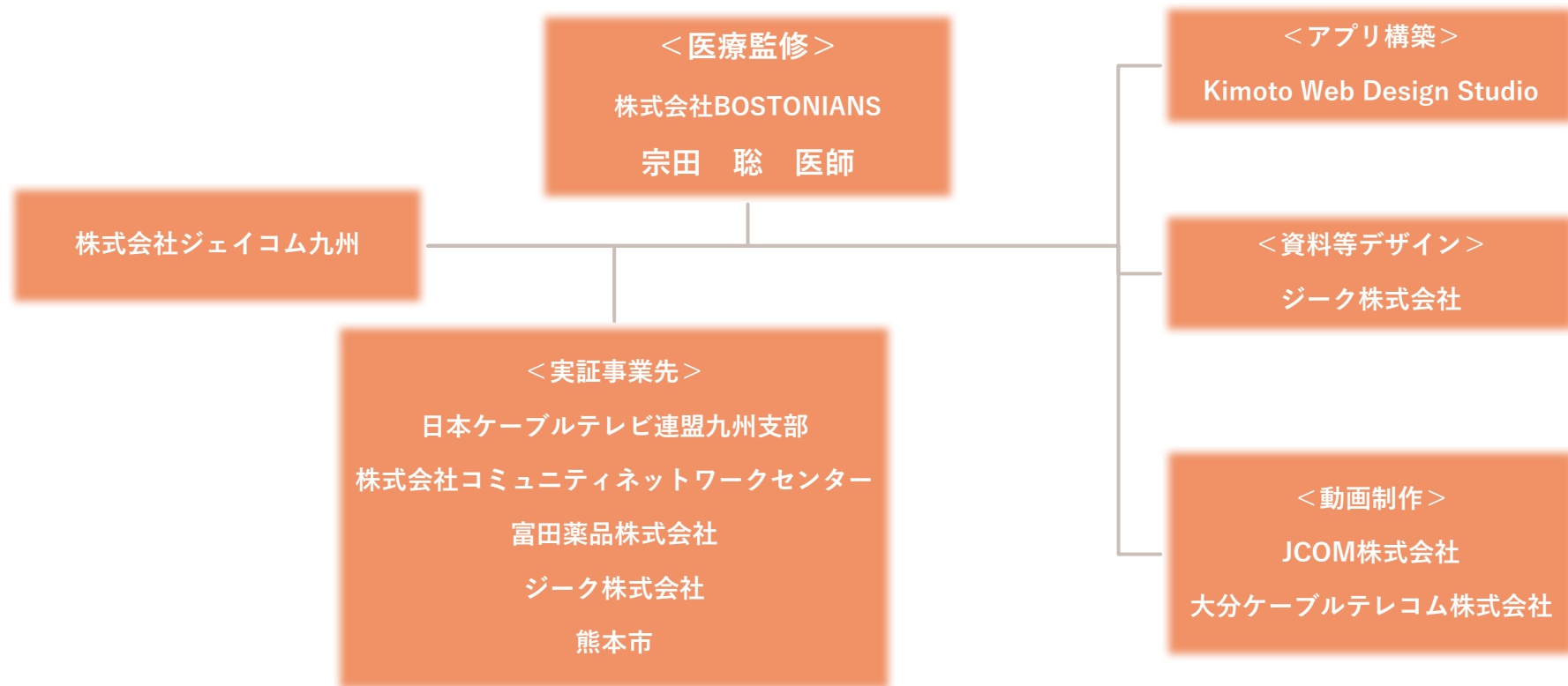
プラットフォーム

- ・研修資料の提供
- ・動画コンテンツの提供
- ・婦人科受診

健康管理アプリ

- ・健康状態の記録
- ・スケジュール/健診管理
- ・受診勧奨

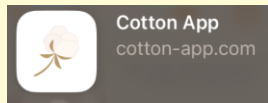
補助



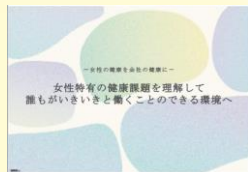


Care Of Things, Things Of Normal.

<コンテンツ拡充> 産婦人科の役割と選び方

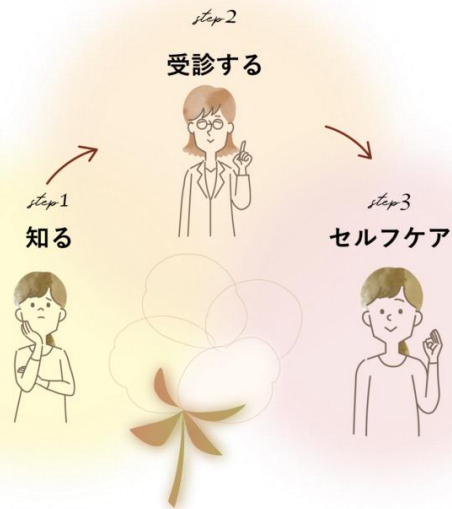


※アプリ詳細は別途記載



健康管理アプリ等による
体調の把握・受診管理

健康経営推進者向けセミナー
各企業内セミナー



Care Of Things, Things Of Normal.

<コンテンツ拡充>
女性と眠り
女性とスポーツ
産後ケア など

実施スケジュール

実施事項	2025年					2026年		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
実施項目 1 女性の健康アプリ制作								
アプリ構築		→						
アプリ運用						→		
実施項目 2 コンテンツ制作								
①動画制作（婦人科受診）		→						
②動画制作（セルフケア）	→							
③動画制作（女性の健康）			→					
④動画制作（思春期外来、更年期外来）						→		
⑤動画制作（産後ケア）						→		
実施項目 3 健康経営推進者向けセミナー								
セミナー実施（セミナー資料のデザイン等の準備含む）	→							
参加者へ研修ツール案内送信				→				
実施項目 4 各企業でのセミナー								
各社セミナー実施（各社事前アンケート実施）					→			
各社事後アンケート実施						→		
アンケート分析						→		

女性特有の健康課題への対処

女性特有の健康課題に関するリテラシー向上による
相対的プレゼンティーズム1.0以下の女性の割合15%改善

職場環境の整備

職場において女性特有の健康に対して必要な対応を
取ることができる従業員の割合が20%増加

婦人科健診受診意向

健康課題に対して医療機関および専門家へ相談している
女性の割合が25%増加

- ・ プレゼンティーズムとは、WHO（世界保健機関）によって提唱された健康問題に起因したパフォーマンスの損失を表す指標の一つであり、欠勤には至っておらず勤怠管理上は表に出てこないが、健康問題が理由で生産性が低下している状態を意味している。
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/downloadfiles/kenkokeieioffice_report.pdf
<https://www.hcp.med.harvard.edu/hpq/ftpdire/absenteeism%20presenteeism%20scoring%20050107.pdf>

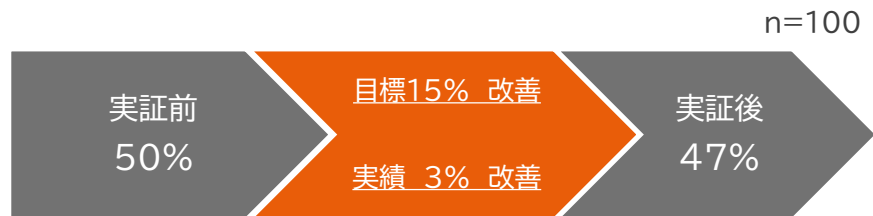
実証結果 <女性特有の健康課題への対処>

女性特有の健康課題に関するリテラシー向上によるプレゼンティーズム改善

WHO-HPQスコア増加

- ・改善した女性受講者の割合

相対的プレゼンティーズムが 1.0以下の女性の割合
(パフォーマンスが低下している人の割合)



一定の改善は見られたものの、改善率は目標には届かなかった。回答が一部、事前・事後アンケートの期間が極めて短いことも影響したと考える。

管理職志望意向

管理職(すでに管理職は上位の役職)を志望しているか

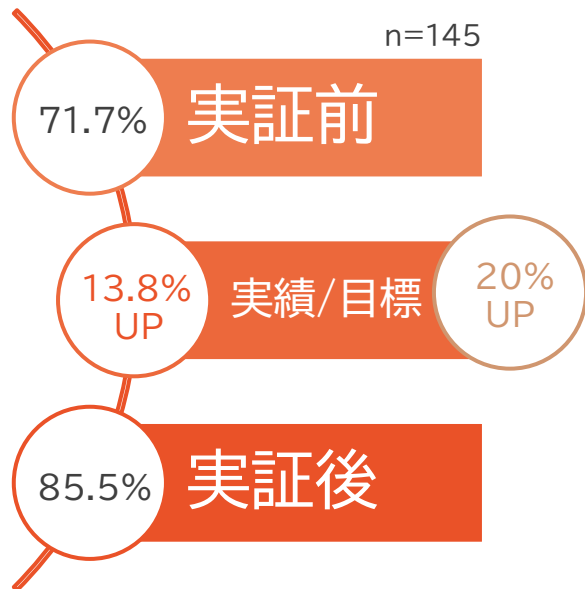
n=100

	事前	事後	増加
とてもあてはまる	1	1	0
あてはまる	7	10	3
まあまああてはまる	23	20	-3
あまりあてはまらない	29	36	7
あてはまらない	19	16	-3
全くあてはまらない	21	17	-4

大きな変動はないが、微かに良化傾向が見られた。キャリアプランニングや各社の人事制度についての研修など組織による総合的なサポートが必要であると考え。

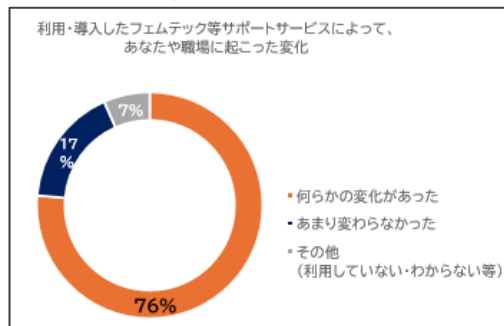
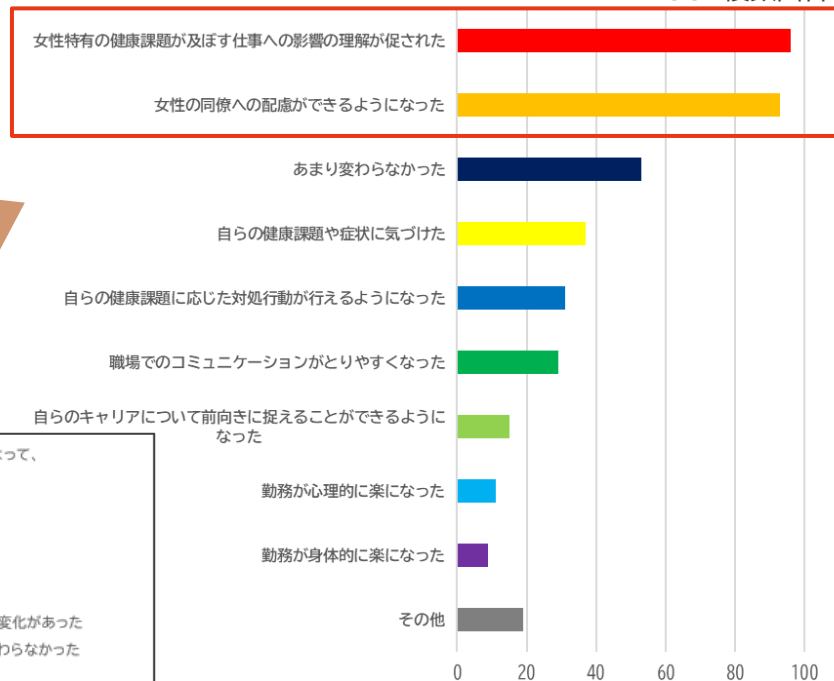
女性特有の健康課題に関する職場での支援

Q.「女性特有の健康課題を抱える同僚等に適切な配慮や支援を行うことができる」という問いに対して肯定的な回答をした人の割合



利用・導入したフェムテック等サポートサービスによって
あなたや職場に起こった具体的な良い変化

n=288 複数回答可

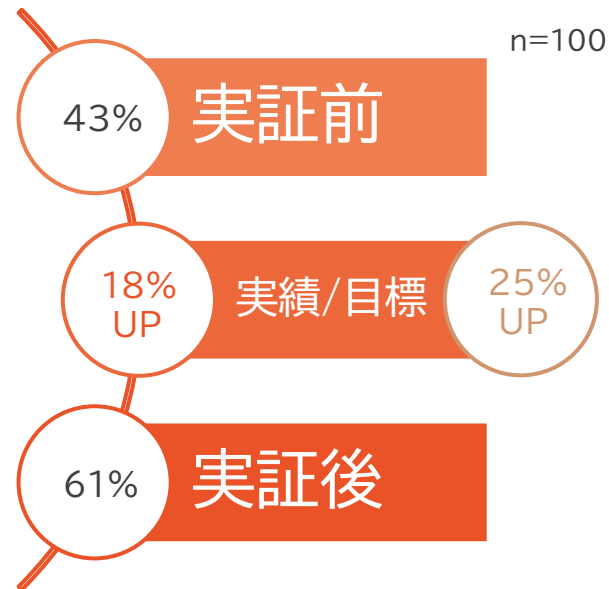


婦人科健診受診意向の向上

Q.「女性特有の健康課題について、適切なケア(自宅等でのセルフケアや医療機関の受診等)ができている」という問いに対して肯定的な回答をした人の中で、さらに具体的な行動として以下のいずれかを選択した女性の割合

- ・各種専門家への相談
- ・医療機関における各種検診・検査の受診
- ・医療機関における各種治療等の実施(処方薬の内服を含む)

女性自身のリテラシー向上から、受診行動へ結びつける効果がみられた。定期健診等のタイミングでのフォローや継続的な働きかけ、情報提供により更なる向上を期待。



実施内容と成果

<健康経営推進担当者向けセミナーの開催>

企業・自治体が自社で研修を実施できるよう、健康経営推進担当者向けに「女性の健康課題について」のセミナーを実施。

理解を深めるため各社の課題や取り組み事例についてディスカッションを実施した。

開催時期	開催場所	参加企業	参加者数
2025/10	熊本市	富田薬品 他1社	3名
2025/10	福岡市	コミュニティネットワークセンター ジーク 日本ケーブルテレビ連盟九州支部 4社	13名
2025/12	熊本市	熊本県	7名

実施内容と成果

<健康経営推進担当者によるセミナー開催>

台本と資料を提供し、企業・自治体の健康経営推進担当者が自社へ戻って研修を開催。

実施にあたり不明点や疑問点があれば事前に打ち合わせをおこなった。参加対象や人数は各企業に一任し、相談に応じて、キャリア研修やディスカッションなどを組み合わせて実施。

開催時期	参加企業	参加者数
2025/12	コミュニティネットワークセンター	57名
2025/12	富田薬品	149名
2026/01	ジーク	17名
2026/02	大分ケーブルテレコム	25名
2026/02	熊本市 *当社が講師となりセミナー実施	80名



健康経営推進担当者向けセミナー

- ・女性の健康についてのセミナー
- ・各企業間でのディスカッション

女性の健康への理解につながるよう
企業内で抱える悩みや取組み施策等を共有

各企業内セミナー

- ・講師:各企業の健康経営推進担当者
- ・投影資料、台本等:当社より提供

参加対象や人数は各企業に一任



健康管理アプリの構築・公開

利用方法: 女性の健康プラットフォームCotton同様アクセス制限なく、誰でも利用可能(無料)

- ・継続的に必要な情報や通知を届けることで、自身の健康状態が見える化
- ・正しい情報を「知る」→「受診する」→「セルフケア」のサイクルをサポート

経済産業省 令和7年度 フェムテック等サポートサービス実証事業

女性の健康CareをNormal(あたりまえ)に



女性の健康
プラットフォーム



Cotton

Care Of Things, Things Of Normal.



健康管理アプリ



不妊治療
月経前症候群
同僚・部下への対応
職場の理解
プレコンセプションケア
女性特有のがん
更年期
女性ホルモン
貧血
セルフケア
月経

女性にも 男性にも 会社にも
正しく知って対応してほしい
女性の健康のこと

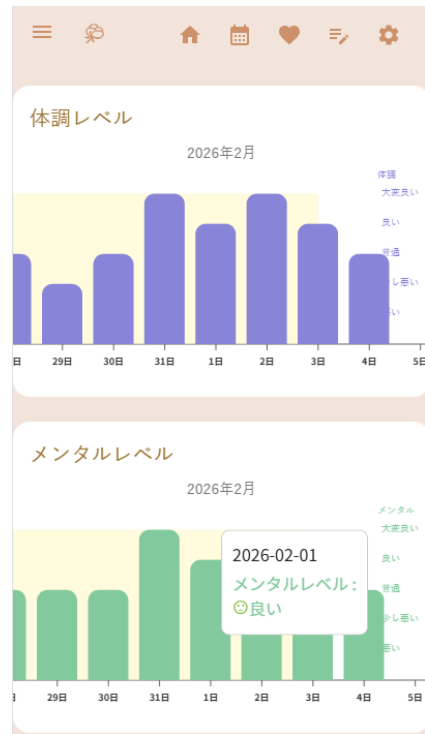
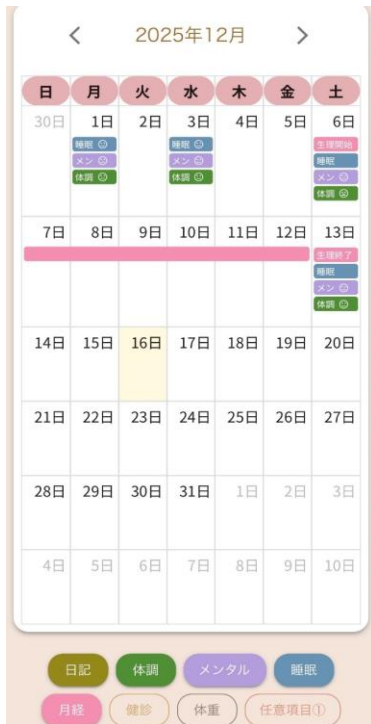


Cotton

株式会社ジェイコム九州

健康管理アプリの構築・公開②

- ・記録内容の選択で性別に関係なく活用できるよう設計
- ・自身の体調を記録することで日々のヘルスケアや、体調管理、受診管理をサポート



プラットフォームCottonの掲載動画拡充

あたらしいを、あたりまえに

J:COM



昨年度本事業で制作した
女性の健康プラットフォームCottonへ
セルフケアや産婦人科受診のきっかけ
となる番組など計10本を公開

<https://cotton.jcom.co.jp/>

ねむり



ライフステージ



婦人科外来

予防医療

◆企業における女性の健康に関するリテラシー向上の仕組みを構築

◆女性の健康プラットフォーム『Cotton』の内容拡充

◆女性の健康アプリ『Cotton』の制作

同僚等への支援

71.7% → 85.5%

13.8ポイント改善

婦人科受診意向

43% → 61%

18ポイント改善

管理職志望意向

31% → 31%

変化なし

アンケート結果では、

- ・ 女性特有の健康課題を抱える同僚への配慮・支援ができると回答した割合が13.8ポイント増加
 - ・ 婦人科受診の意向が18ポイント増加
- と、職場全体での女性の健康への理解が進み、受診の必要性の認識も高まった。

一方で、管理職への志望意向には変化が見られず、アンケート期間が短かったことが要因と考えられる。

実証に関する課題・対応

✓ 女性の健康理解の定着

⇒各企業での女性の健康理解促進の活動を継続するため、健康経営推進担当者に向けた情報発信、フォローアップの体制を整備する

✓ 管理職志望率の向上

⇒管理職の受講後のアクション設計をさらに整備し、「健康×キャリア自律」の定着を図る

✓ 婦人科検診の必要性の理解

⇒受診意向は増加したものの、婦人科検診の受診率の向上につなげるため、参加企業向けサイトで受診しやすい環境整備のための情報提供・啓発を行う。

今後の事業活動について

✓ 行政連携

行政の理解を深め、行政と連携した地域全体での取り組み

✓ 地域企業・団体へのセミナー実施(健康経営推進担当者向けセミナー含む)

今回の実証で実施した、健康経営推進担当者向けセミナーを活用し、地域企業・団体へ向けた女性の健康についての理解促進、職場環境の整備、婦人科受診率の向上等の活動推進・支援

✓ 次世代育成

高校・大学でのセミナー実施による、これから働く世代の女性の健康リテラシー向上

情報発信の強化、セミナーとプラットフォーム、アプリの活用を通して、
地域社会の女性の健康に対する理解とリテラシー向上、職場環境の整備を進めます。

継続的な取り組みを通じて、全ての女性が健康で安心して働ける環境を構築することを目指し、
事業活動を継続してまいります。

ご興味のある、自治体様、産婦人科様、企業様いらっしゃいましたら、ぜひお声がけいただけましたら幸いです。

あたらしいを、あたりまえに

J:COM

